

戦争法に終止符を! 音楽人・団体の会 企画 Vol.3

# 戦争法に終止符を! お話と音楽のつどい



井上鑑 *Inoue Akira* ナターシャ・グジー *Nataliya Gudziy*

## 「鳥の歌」の旅、スペインからウクライナへ

2016年4月、パブロ・カザルスの故郷カタルーニャとチェルノブイリ原発事故から30年を迎えるウクライナへ「連歌・鳥の歌2016欧州ツアー」プロジェクトとして訪れました。そのときの模様を「連歌・鳥の歌」プロジェクト代表の井上鑑さん、チェルノブイリ原発事故を経験し、「連歌・鳥の歌」中心メンバーでもあるナターシャ・グジーさんをお迎えして何う、「お話と音楽のつどい」を開催します。

前回、「連歌・鳥の歌」にまつわるお話が好評につき、今回はスペイン編のおさらいと新たにウクライナ編を、現地で収録した映像を紹介しつつ、井上鑑さんとナターシャ・グジーさんの想いのこもったトークをご紹介します。

「モンセラット修道院での献奏」「カザルス生誕地ベンドレルでのコンサート」「チェルノブイリ博物館での原発事故30年式典」「国立オペレッタ劇場でのコンサート」などツアーでの忘れえない場面について熱いお話が伺えるまたとない機会となります。

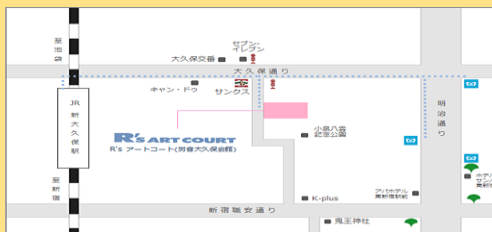
その後、井上鑑さんとナターシャ・グジーさんによるコンサートでは、今回のツアーにちなんだ楽曲を中心にお届けいたします。

当日、会場では、主にスペイン編を中収録した「連歌・鳥の歌2016欧州ツアー」とウクライナ編を中心に収録された「ナターシャ・グジーコンサート in キエフ」のDVD&BD-R作品の販売も予定されています。

2017.1.30(月)pm6:30 開場  
pm7:00 開演

労音大久保会館 R's アートコート  
(東京都新宿区大久保 1-9-10/下図参照)

特別参加費 1,000 円(※会の催しは、会員の賛同金で運営しております)



「日本を戦争させない国に!」今こそ賛同の輪を広げよう

■主催/戦争法案に終止符を!音楽人・団体の会 (事務局:〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-16-36 ☎03-3200-0106)

■よびかけ人 (アイウエオ順) / 池辺晋一郎 (作曲家)・井上鑑 (キーボード奏者・アレンジャー・プロデューサー)・日下部吉彦 (音楽評論家)・栗山文昭 (合唱指揮者)・三枝成彰 (作曲家)・新実徳英 (作曲家)・藤井知昭 (音楽学者)・普天間かおり (歌手)・湯川れい子 (音楽評論家・作詞家)

# 「戦争法に終止符を! 音楽人・団体の会」 よびかけへの賛同願ひ

戦後最長の国会会期末95日間延長の末、安倍自公政権は去る9月19日未明参院本会議で、6割を超す『今国会での成立に反対』という国民の世論に背いて、憲法違反の戦争法案(安保関連法制)を採決し、強行成立させました。

戦後70年間、一度も戦争をしてこなかった私たちの国が、いま、その「かたち」や「ありよう」を大きく変えさせられようとしています。

戦後、日本国憲法9条のもとで歴代政権が禁じてきた集団的自衛権の行使が可能となり、自衛隊の活動を地球規模に拡大させるこの戦争法に対して圧倒的多数の憲法学者、歴代の法律をつくる側の内閣法制局長官、元最高裁判所長官を含むかつてない広範な人々から憲法違反という批判が集中しています。

安倍内閣は一切、国民の声に耳を傾けることなく、「数の暴力」で、「国会多数での議決こそが民主主義だ」と暴言。違憲立法を強行することは国民主権という日本国憲法が寄って立つ民主主義の根幹を破壊するものに他ありません。

この間、さまざまな分野で法案反対・廃案のアピールや一点共闘の呼びかけがなされてきました。そのような状況下で、「戦争法案」反対の一点で共同できる運動として、音楽に携わる人たち・団体で「戦争法に終止符を! 音楽人・団体の会」が多くの賛同者のお力添えをいただき去る8月28日に発足いたしました。

よびかけに賛同する音楽関係者(団体)は12月10日現在で、約440人にのぼっています。戦争法は違憲の法律であり、今後とも安保関連法の発動を許さず、廃止をめざしてたたかいを続けていくことが現下の急務となっていることから、9月20日付で本会の名称「戦争法案に終止符を! 音楽人・団体の会」を「戦争法に終止符を! 音楽人・団体の会」に改称して、引き続き賛同の輪を広げていくことといたしました。

この会には本「戦争法に終止符を! 音楽人・団体の会」よびかけにご賛同いただける方であればどなたでも参加していただくことができます。現在、日本国内多くの音楽家、音楽関係者、プロ・アマ問わず音楽を愛する皆さんに賛同を呼びかけています。

ひとり一人の心の中に警鐘を鳴らす心の訪問者としての音楽を全国で高らかに鳴り響かせましょう。日本国民にとって、ひとり一人が平和に生きる権利を守り抜くためにも「戦争をさせない」世論を広げる運動へのご協力と本会へのご賛同を心よりよびかけます。

2015年10月吉日

「戦争法案に終止符を! 音楽人・団体の会」よびかけ人(アイウエオ順)

池辺晋一郎(作曲家) 井上鑑(キーボード奏者・アレンジャー・プロデューサー) 日下部吉彦(音楽評論家)

栗山文昭(合唱指揮者) 三枝成彰(作曲家) 新実徳英(作曲家) 藤井知昭(音楽学者)

普天間かおり(歌手) 湯川れい子(音楽評論家・作詞家)

## ご賛同のお願い

私たちは、戦争への道を突き進む安倍内閣の暴走を阻止し、「戦争法案」反対の一点で共同できる運動として、音楽に携わる人たち・団体で「戦争法案に終止符を! 音楽人・団体の会」を全国的に立ち上げることにいたしました。この会には上記の「よびかけ」にご賛同いただける方であればどなたでもご参加いただけます。

一人でも多くの音楽を愛する方々・団体の賛同を心よりお願い申し上げます。

■賛同していただける場合は下記まで①氏名②住所③連絡先④ジャンル⑤お名前の公表の有無等をご記入のうえ、FAXまたはメール等でご返事いただければ幸いです。

「会」のHPからもお申込みいただけます。Web Site <http://utagoenet.com/ongakujin>

《送り先》FAX:03-3200-0193 「戦争法案に終止符を! 音楽人・団体の会」事務局  
E-Mail [ongakujin@utago.gr.jp](mailto:ongakujin@utago.gr.jp)

■「会」への賛同案内郵送料のほかに円滑な運営のための賛同金にご協力ください。

※賛同金にご協力いただける場合は、賛同個人1口1,000円、団体1口3,000円をめぐに何卒お願い申し上げます。※入会の条件ではありません。

〈振込先〉戦争法に終止符を! 音楽人・団体の会

(ゆうちょ銀行からの送金) 記号:10280 番号:91577331

(その他金融機関からの送金) 店番:〇二八 普通 口座:9157733



## 井上鑑

(キーボード奏者/アレンジャー/プロデューサー)

1953年9月8日チェリスト井上頼豊の長男として東京に生まれる。桐朋学園

大学音楽学部作曲科在学中(故・三善晃氏に師事)よりCM音楽作編曲家、キーボード奏者として活動を始め、その後、アレンジャー・プロデューサーとして多数のプロジェクトに参加。特に故・大瀧詠一氏とは自称師弟関係を70年代ナイアガラレーベルのコロムビア在籍時から維持し「Each Time」、「NIAGARA SONG BOOK I・II」「幸せな結末」等多数に参加。2000年前後より福山雅治氏の作品作りに加わる。1981年single「GRAVITATIONS」、album「予言者の夢」でソロデビュー。ロンドンとの2拠点化が85年頃から進む。David Rhodes (Peter Gabriel Band)、Simon Phillips、Jon Kelly (Kate Bush)、Tchad Blake 等との交友からは多数の作品が生まれている。舞踏、映像など音楽以外の創作活動への参加も数多く、編集的なセンスの鋭さで信頼関係を、長期にわたってコラボレーションを続けているアーティストもジャンルを越えて多数。



## ナターシャ・グジー

(歌手・バンドウーラ奏者)

ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事

故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。

1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。

2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。

その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。

コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。

### ◆演奏予定曲

「鳥の歌」「旅歌人(コザリ)」「遥かに遠い空」「白い翼」ほか

